



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月14日

上場会社名 株式会社フーバーブレイン 上場取引所 東
コード番号 3927 URL <https://www.fuva-brain.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）奥水 英行
問合せ先責任者 （役職名）管理部部长 （氏名）植村 浩之 TEL 03-5210-3061
配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,303	36.3	36	184.6	39	336.3	245	-
2025年3月期第1四半期	956	28.8	12	248.5	9	△26.9	△3	-

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 1,694百万円（76,771.8%） 2025年3月期第1四半期 2百万円（△64.5%）

	調整後売上高		調整後営業利益		調整後経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,719	79.7	453	1,086.5	457	1,223.5
2025年3月期第1四半期	956	28.8	38	261.0	34	78.8

- （注）1. 調整後売上高、調整後営業利益及び調整後経常利益は、当社グループの主要事業及び成長戦略（オーガニックグロース、M&Aグロース及び投資グロース）を前提とし、当社グループの事業実態に則した経営成績を表す指標としてのより適切となる調整を行っております。
2. 調整後売上高は、すべての主要事業の営業収入を含むように調整した包括的な売上高。投資グロース戦略のもと、投資子会社フーバー・インベストメントのすべての有価証券売却収入を、営業投資有価証券売上高として、売上高に含めております。
3. 調整後営業利益は、経常的な営業キャッシュ・フローの創出能力を表すように調整した利益。M&Aグロース戦略のもと、調整後売上高に基づく営業利益に、M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用、株式報酬費用、その他一時的費用等を加えて算出しており、当社グループが最も重視するKPIとなります。
4. 調整後経常利益は、調整後営業利益に基づく経常利益であり、更なる調整は加えておりません。

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	45.90	45.76
2025年3月期第1四半期	△0.61	-

（注）2025年3月期第1四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	8,279	3,090	36.0
2025年3月期	5,604	1,729	27.3

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 2,979百万円 2025年3月期 1,527百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2026年3月期	-	-	-	-	-
2026年3月期（予想）	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	5,600	28.1	255	36.1	250	50.6	400	265.4	74.84

	調整後売上高		調整後営業利益		調整後経常利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％
通期	6,000	37.2	700	140.7	695	158.0

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	5,604,200株	2025年3月期	5,604,200株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	259,807株	2025年3月期	259,807株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	5,344,393株	2025年3月期1Q	5,215,303株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（第1四半期決算説明会について）

当社2026年3月期第1四半期決算説明会について、機関投資家・アナリスト向けに2025年9月4日15時30分からオンラインにて開催いたします。説明会参加ご希望の方は、所属機関名・所属部署名・役職・お名前を記載のうえ、下記メールアドレスまでご連絡ください。

株式会社フーバーブレインIR担当：ir@fuva-brain.co.jp

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループ（当社及び連結子会社）は、ワンストップですべてのセキュリティソリューションを提供できる「セキュリティソリューションプラットフォーム」を有する「ITエンジニア集団」として、オーガニックグロースと積極的なM&A・戦略提携によるM&Aグロース、さらに投資グロースを成長ファクターにグループ拡大を目指しております。

当第1四半期連結累計期間において、ITツール事業における成長事業である「セキュリティ&ネットワークaaS製品」及び「働き方改革製品（SaaS型）」が、前年同期比56.9%増、28.7%増とそれぞれ拡大し、基盤事業である「セキュリティ製品」は高い利益貢献を継続し、着実なオーガニックグロースを実現しております。

もう一つの基盤事業である「ITサービス」においては、2024年9月及び10月に連結子会社化した株式会社A s e m b l e（株式会社ARPEGGIOから社名変更、以下、「A s e m b l e」という。）及びイチアール株式会社（以下、「イチアール」という。）が事業成長に貢献し、M&Aグロースを拡大しております。イチアールについては、2025年6月30日付で株式を追加取得し、完全子会社化いたしました。

採用支援・人材紹介を提供する連結子会社株式会社アド・トップ（以下、「アド・トップ」という。）において、拡大を続ける人材採用需要を背景に、売上高拡大を実現しました。

当第1四半期連結累計期間より新たに報告セグメントとして記載しました投資事業については、投資子会社フーバー・インベストメント株式会社（以下、「フーバー・インベストメント」という。）において、2025年4月22日付で、投資先であるデジタルグリッド株式会社が東京証券取引所グロース市場に上場し、持分の一部を売出したことで、売却価額415,840千円、投資有価証券売却益385,840千円を特別利益として計上し、投資グロースによるグループ成長を実現しました。2025年8月13日終値ベースで、その含み益は27億円となっております。

以上の取り組みの結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,303,474千円（前年同期比36.3%増）となりました。売上構成の変化による粗利率の低下はあるものの、粗利額の拡大により、営業利益は36,332千円（前年同期比184.6%増）となりました。経常利益については、助成金収入6,200千円を計上する一方、持分法による投資損失2,062千円を計上したことで、39,449千円（前年同期比336.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益として投資有価証券売却益385,840千円を計上し、法人税等合計166,656千円、非支配株主に帰属する四半期純利益13,415千円により、245,355千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失3,225千円）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(ITツール事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は711,557千円（前年同期比23.5%増）、セグメント利益は72,423千円（前年同期比22.2%増）となりました。

(ITサービス事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は591,917千円（前年同期比55.5%増）、セグメント利益は61,333千円（前年同期比33.0%増）となりました。

(投資事業)

当第1四半期連結累計期間の売上高は-千円（セグメント間の内部売上高又は振替高900千円）、セグメント利益は30千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ2,674,910千円増加し、8,279,127千円となりました。これは主に、現金及び預金が263,209千円、前払費用が209,790千円及び投資有価証券が2,190,727千円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計の額は、前連結会計年度末に比べ1,314,086千円増加し、5,188,679千円となりました。これは主に、短期借入金が217,499千円、前受金が232,129千円及び繰延税金負債が787,156千円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計の額は、前連結会計年度末に比べ1,360,824千円増加し、3,090,447千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益245,355千円を計上し、投資有価証券の評価額増加によりその他有価証券評価差額金が1,435,067千円増加した一方、イチアール株式の追加取得によ

る完全子会社化等により資本剰余金が228,839千円及び非支配株主持分が106,523千円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2025年5月15日付公表「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,522,935	1,786,145
受取手形及び売掛金	475,322	469,896
営業投資有価証券	142,917	142,917
仕掛品	-	6,317
原材料及び貯蔵品	108,739	83,627
短期貸付金	50,000	50,000
前払費用	1,012,916	1,222,706
その他	14,284	7,895
貸倒引当金	△866	△878
流動資産合計	3,326,249	3,768,628
固定資産		
有形固定資産	24,042	124,023
無形固定資産		
のれん	540,160	524,752
その他	4,260	3,301
無形固定資産合計	544,421	528,054
投資その他の資産		
投資有価証券	135,802	2,326,529
長期前払費用	1,315,576	1,273,192
その他	258,125	258,698
投資その他の資産合計	1,709,503	3,858,421
固定資産合計	2,277,967	4,510,499
資産合計	5,604,216	8,279,127

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	208,751	156,567
短期借入金	297	217,796
1年内返済予定の長期借入金	87,996	70,497
前受金	1,210,863	1,442,993
未払法人税等	75,908	165,799
引当金	31,974	40,484
その他	215,068	307,253
流動負債合計	1,830,860	2,401,391
固定負債		
長期借入金	275,006	253,007
繰延税金負債	3,128	790,285
退職給付に係る負債	28,876	30,399
資産除去債務	20,495	27,665
長期前受金	1,632,682	1,602,387
その他	83,544	83,544
固定負債合計	2,043,733	2,787,288
負債合計	3,874,593	5,188,679
純資産の部		
株主資本		
資本金	796,881	796,881
資本剰余金	649,586	420,747
利益剰余金	148,664	394,019
自己株式	△72,281	△72,281
株主資本合計	1,522,850	1,539,366
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,469	1,440,537
繰延ヘッジ損益	△1,030	△213
その他の包括利益累計額合計	4,438	1,440,324
新株予約権	10,511	25,458
非支配株主持分	191,822	85,298
純資産合計	1,729,623	3,090,447
負債純資産合計	5,604,216	8,279,127

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	956,575	1,303,474
売上原価	658,881	921,642
売上総利益	297,694	381,832
販売費及び一般管理費	284,926	345,499
営業利益	12,767	36,332
営業外収益		
受取利息	375	396
為替差益	3,018	87
助成金収入	-	6,200
その他	76	54
営業外収益合計	3,470	6,738
営業外費用		
支払利息	184	1,480
持分法による投資損失	7,010	2,062
その他	-	79
営業外費用合計	7,195	3,622
経常利益	9,042	39,449
特別利益		
投資有価証券売却益	-	385,840
新株予約権戻入益	-	138
特別利益合計	-	385,978
税金等調整前四半期純利益	9,042	425,427
法人税、住民税及び事業税	9,260	164,742
法人税等調整額	△47	1,913
法人税等合計	9,212	166,656
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	258,770
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,054	13,415
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,225	245,355

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△170	258,770
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,208	1,435,073
繰延ヘッジ損益	1,166	817
その他の包括利益合計	2,374	1,435,891
四半期包括利益	2,204	1,694,662
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△836	1,681,240
非支配株主に係る四半期包括利益	3,041	13,421

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は、作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	2,749千円	4,175千円
のれんの償却額	7,660	15,407

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	ITツール事業	ITサービス事業	投資事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	575,949	380,626	-	956,575	956,575	-	956,575
セグメント間の 内部売上高又は振替高	84	6,952	900	7,936	7,936	△7,936	-
計	576,033	387,579	900	964,512	964,512	△7,936	956,575
セグメント利益又は損失(△)	59,251	46,104	△39	105,316	105,316	△92,548	12,767

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△92,548千円には、のれんの償却額△4,262千円、一時的に発生する子会社取得関連費用△16,802千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△71,483千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				合計	調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)
	ITツール事業	ITサービス事業	投資事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	711,557	591,917	-	1,303,474	1,303,474	-	1,303,474
セグメント間の 内部売上高又は振替高	32	7,294	900	8,227	8,227	△8,227	-
計	711,589	599,212	900	1,311,702	1,311,702	△8,227	1,303,474
セグメント利益	72,423	61,333	30	133,788	133,788	△97,455	36,332

(注) 1. セグメント利益の調整額△97,455千円には、のれんの償却額△4,262千円、一時的に発生する子会社株式追加取得関連費用△15,320千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△77,872千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分の変更)

当第1四半期連結会計期間より、投資先であるデジタルグリッド株式会社が東京証券取引所グロース市場に上場したことにより、資産の量的重要性が増したため、「その他」に含まれていた「投資事業」を報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

【調整後のセグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

調整後の報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額	調整後四半期連結売上高及び営業利益
	ITツール事業	ITサービス事業	投資事業	計			
調整後売上高							
外部顧客への売上高	711,557	591,917	415,840	1,719,314	1,719,314	-	1,719,314
セグメント間の内部売上高又は振替高	32	7,294	900	8,227	8,227	△8,227	-
計	711,589	599,212	416,740	1,727,542	1,727,542	△8,227	1,719,314
調整後セグメント利益	72,423	73,385	385,870	531,680	531,680	△77,751	453,929

(注) 1. 調整後売上高、調整後セグメント利益は、当社グループの主要事業及び成長戦略（オーガニックグロース、M&Aグロース及び投資グロース）を前提とし、当社グループの事業実態に則した経営成績を表す指標としてのより適切となる調整を行っております。

2. 調整後売上高は、すべての主要事業の営業収入を含むように調整した包括的な売上高。投資グロース戦略のもと、投資子会社フーバー・インベストメントのすべての有価証券売却収入を、営業投資有価証券売上高として、売上高に含めております。

3. 調整後セグメント（営業）利益は、経常的な営業キャッシュ・フローの創出能力を表すように調整した利益。M&Aグロース戦略のもと、調整後売上高に基づく営業利益に、M&Aにより生じた無形資産の償却費用及び取引費用、株式報酬費用、その他一時的費用等を加えて算出しており、当社グループが最も重視するKPIとなります。